

1. 研究主題

なかまとともに学び合い、未来を拓く生徒の育成～国中協同学習を通して～

2. 研究の具体

(1) 国中協同学習の展開

- ・国中まなびのルールを意識した、生徒が主体的に学びあう授業展開の工夫

国中協同学習 **国中まなびのルール**

1. 目と心とで、よく聴こう。
2. 自分の考えや思いを伝えあおう。
3. わからないときは自分から尋ねよう。
4. 訊かれた人は、相手がわかるまで説明しよう。
5. まなびあう雰囲気を大切にしよう。



- ・男女市松の配置
- ・4人班



- ・机の高さをそろえる
- ・机はぴったりつける



- ・コの字型座席配置
- ・ペア、グループ活動

課題共有課題と課題ジャンプ課題を設定した授業実践

(2) 研究推進4部会による研究推進

【道徳部会】全教員で行う計画的な道徳の実践（学期に1回のローテーション道徳）

【特活部会】学びのコミュニティづくりの基盤となる特別活動の実践

【ICT推進部会】ICTを活用した魅力ある授業づくり

【人権・同和教育部会】3年間を見通し、系統立てた人権・同和教育の実践



↑道徳の授業風景



↑学活の授業風景



↑ICT活用風景

ICT通信 9月号

デジタル教科書

一部拡大

↑教員向けICT通信

(3) めざす教員像実現に向けた計画的な教職員研修の実施

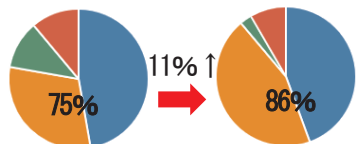
- ・月1回の現職教育全体会の実施
- ・年3回の公開授業期間の設定（7月、10月、2月）
- ・年3回の要請訪問の実施（7月：道徳、9月：人権・同和教育、10月：教科）

3. 研究の検証と改善の手立て

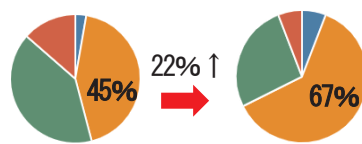
今年度6月と11月に実施した教員対象アンケートでは、①②の問いの肯定的評価の割合が向上した。コの字型座席を活かす学習内容の工夫をしようとする意識やジャンプ課題設定への意識向上が見られた。

①コの字型を活かした学習内容を行っている。

②ジャンプ課題を設定することで、生徒が主体的に学び、学びが深まっていると感じる。



- 感じる
- どちらかといえば感じる
- あまり感じない
- ほとんど感じない

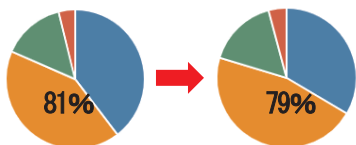


左：6月実施
右：11月実施

昨年度末と今年度11月に実施した生徒対象アンケートでは、①②の問いの肯定的評価が高評価のまま維持されていた。国中協同学習による授業実践に対して、生徒が楽しく前向きに取り組んでいる現状がある。

①学校の授業は楽しいと思いますか。

②授業で友だちと学び合ったり、課題解決に向けて一緒に取り組んだりするグループ活動は楽しいと思いますか。



- 楽しい
- どちらかといえば楽しい
- あまり楽しくない
- 楽しくない



左：R4.3月実施
右：11月実施

国中協同学習の取組が形だけにならないような教員研修の工夫、授業の楽しさやグループでの課題解決のおもしろさが生徒の学力向上・なかまづくりにつながる授業実践、生徒の心に響く道徳教育、学校全体で取り組む人権・同和教育の実践を今後も続けていきたい。